

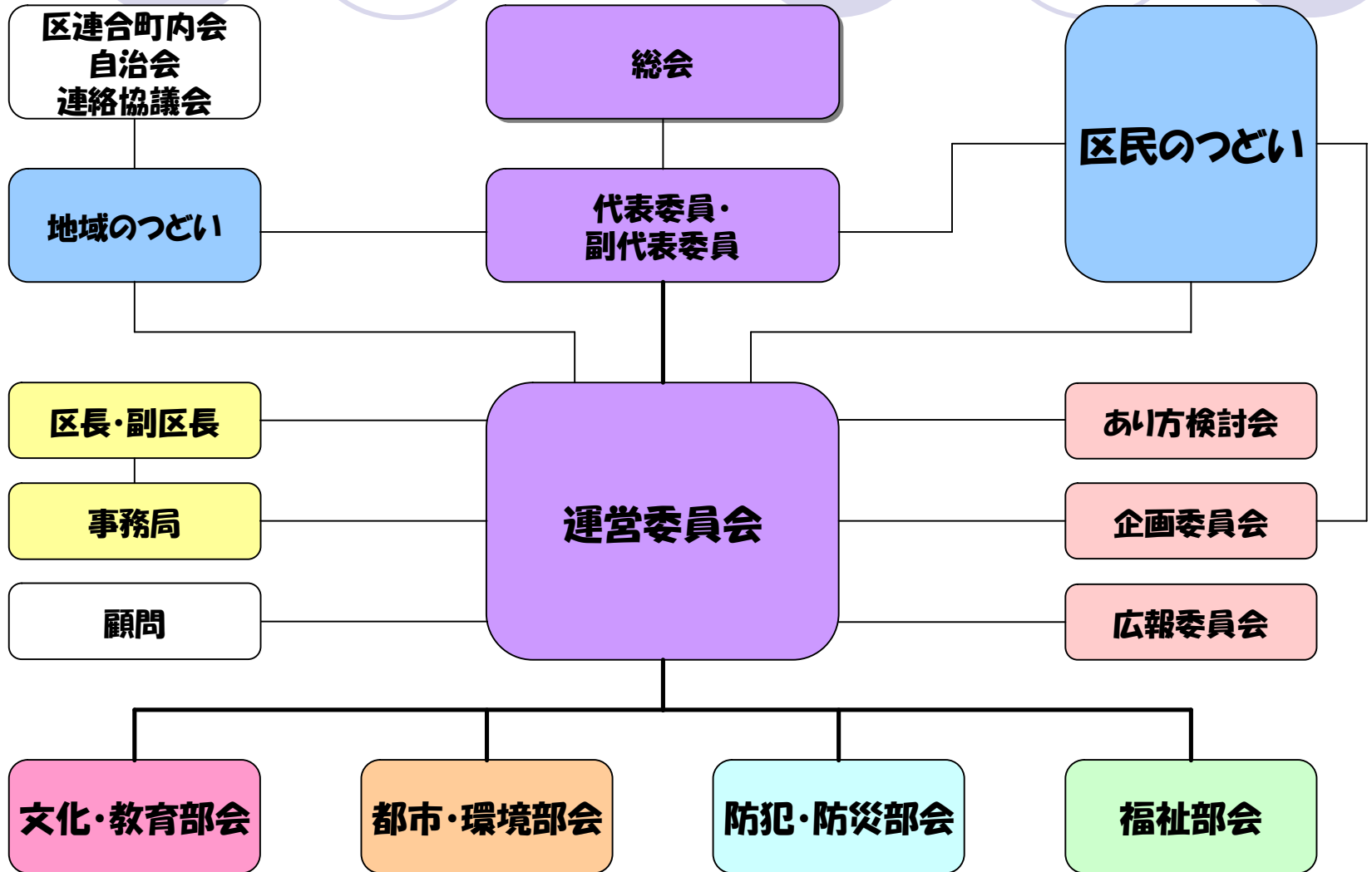
神奈川区民協議会の現状と展望

あり方検討会で協議を重ねることで
見えてきたこと

1. 現在までの主な経過

昭和49年9月 区民会議発足 ～昭和54年10月	運営は区主導(集会の開催) 公共施設の拡充などの要望
昭和54年11月～平成3年	区民協議会と改称 委員、任期を確定
平成4年～	実質的な自主運営を指向 「地域のつどい」開催開始
平成8年～	部会の設置 活動テーマの策定
平成10年～	参加委員の一般公募開始 「こぶし」創刊
平成18年	あり方の検討 運営取り扱い要領の制定
平成20年～	再度あり方検討開始

2. 現在の活動状況



2. 現在の活動状況

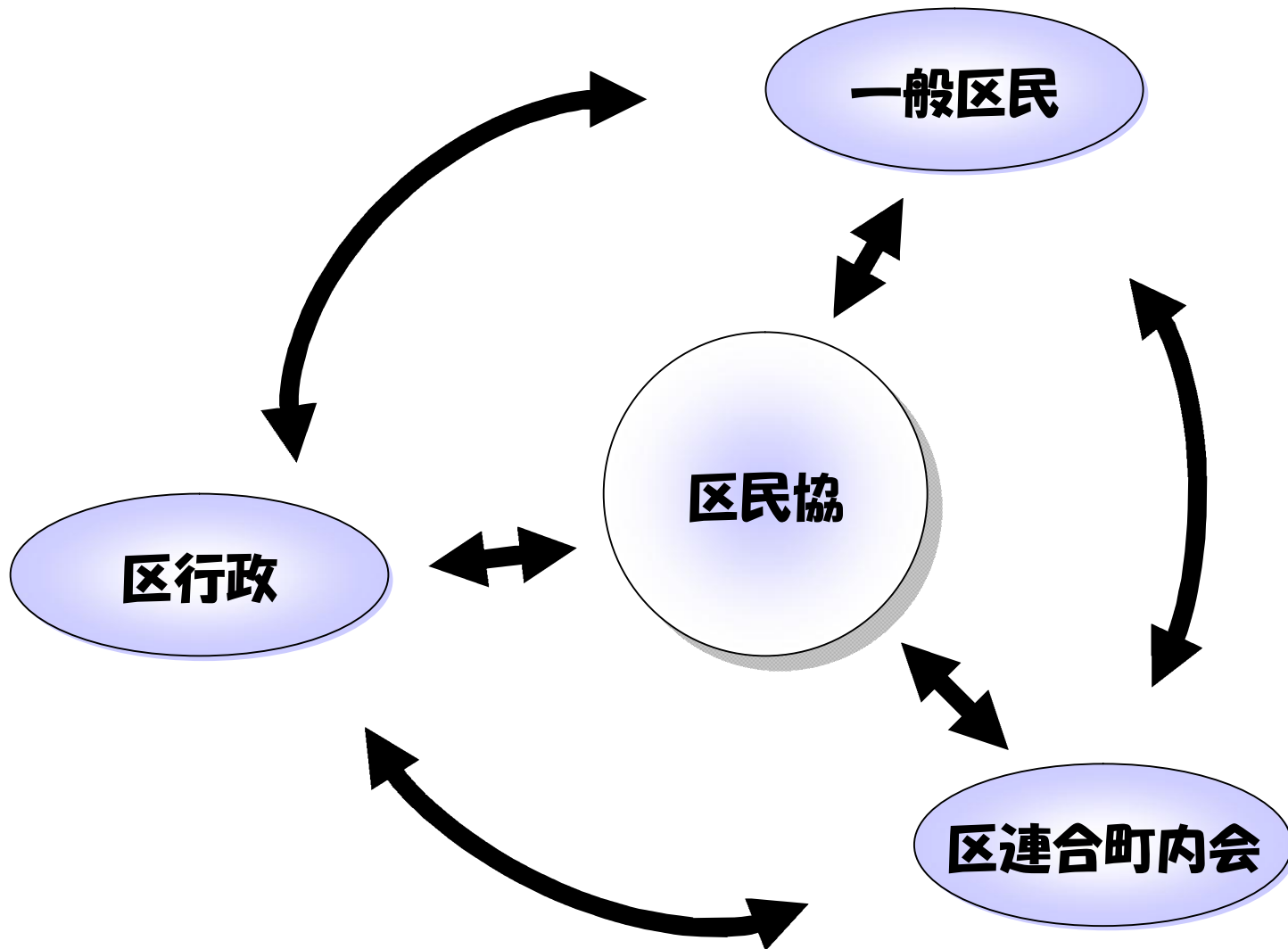
- 平成20年7月1日から第15期の活動を開始
活動テーマ：「手をつなぎ やさしく住みよい まちづくり」
- つどいの開催：「区民のつどい」・「地域のつどい」
- 運営委員会の活動（定例委員会、施設見学会、区長との懇談会 他）
- 4部会による活動：
 - ① **文化・教育部会**（適切な保育環境の確保に向けて）
 - ② **都市・環境部会**（放置自転車等違法駐輪状況の改善に向けて）
 - ③ **防犯・防災部会**（防犯に関して各自治会町内会にアンケート調査を依頼、その分析など）
 - ④ **福祉部会**（介護支援ボランティアのポイント制導入の提案や、災害時の要支援体制確立の検討など）
- 広報活動（機関紙「こぶし」、「ホームページ」公開、「区民まつり」に出店、アンケート実施）

3. 現状の課題

活動の意義と財務面について

- **岐路に立たされる区民協議会の方向性**
 - テーマが区民の実情と遊離している？ 提言しても実現が見えない、実現しても、実感が得られない。
 - 広聴機関としての性格が終わりつつある中、何をすることが求められているのか？
 - 一般区民の間で協議会の活動の認知度が低い。
- **応募委員の減少傾向、参加委員の出席率の低下傾向**
 - 委員の推薦のされ方に問題があるのか。
- **区から求められる事務局機能・活動の自立**
 - 会に財務的裏付けがない＝資金調達は今後の大きな課題
- **ホームページ」のメンテナンス**
 - 大きく管理費のかかることはできない。

4. 現状の課題の改善に向けて あり方検討会での議論



4. 現状の課題の改善に向けて あり方検討会での議論

- 当会は、行政、連合町内会等の地域、一般区民との間に位置し、区民生活における課題の改善を目指して実動を含む提言をする**自主の会**、との認識を定着させたい。
- その課題を集約する場として「地域のつどい」を活用し、そこから活動の**テーマを選択**しようと考えている。
- 提言の実現を目指し、地域に密着した課題を選び、改善に向け活動、「区民のつどい」でその推移を**報告**する。
- 運営委員会・部会活動について、参加委員による自治会町内会等への**報告**が余りされていない現状を改め、**地域から頼りにされる団体**となることを目指して区民の参加を募る。

5. 活動の具体的見直し、変更

- 区民協議会設置要綱・運営取り扱い要領の見直し
- 「地域のつどい」からテーマを選定
区行政等、区連合町内会や各種団体と区民間の**コーディネーター**として、柔軟・横断的に活動して課題解決の道筋をつける。
- 部会・任期の枠にとらわれない活動・提言をする。
その**実現を目指して継続的に活動**するとともに、提言の検証を怠らないようにする。
- 様々な機会を捉えて一般区民に**活動を広報**
「つどい」、地域での集まり、「こぶし」、「ホームページ」などを活用し、行政・地域・区民の隙間を埋めることのできる団体としての活動を定着させていく。

あり方検討会で協議を重ねることで見えてきたこと

